

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	入江 一雄
主な担当科目	実技個人レッスン〔器楽実技Ⅱ③,ピアノⅠ①,ピアノⅠ②,ピアノⅠ③,ピアノ,音楽芸術表現実技(ピアノ)①〕
シラバス	ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。) ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック
2023年の 教育目標・授業に 臨む姿勢	専任職2年目となったが、多様な背景のある学生らにどう対応していくかがまだ自分の課題と感じている。しかし、芸術や音楽の素晴らしさや尊さを伝える熱量は制限されるものではないと改めて感じ、常にポリシーとして持っている「普遍的に守らなければいけないこと・それら以外は自由なものである」という信念のもと学生に接している。本年度からは大人数に向けた講義も担当しているが、大切なことを伝えつつ生徒ごとに自主性を持ってもらうよう工夫している。
2023年の教育に関 する自己評価	昨年よりも生徒の自主性や主張を引き出せている実例に触れることが多くなった。生徒ごとに上達スピードも全く違うが、大切なことを粘り強く伝えることは昨年度よりできていると思う。引き続き、学生自身が試行錯誤して自分の力で何かをつかみ取れるような指導をしていく。
2023年のFD活動 に関する自己評価	大学のFD活動がどういうものか少しわかり、見識をより深める時間にできた。多角的な面から自身の教育・研究の成長に繋がられるよう、次年度以降も意識を明確に持って臨みたい。
授業改善のために 取り入れた研修内容	第1回FD研修会で取り上げられえた「授業・レッスンにおけるICTの活用について」の話が印象に残っている。実例や将来運用できそうな様々な案を提示されていたのも興味深かったが、forms1による出席管理や授業内でのアンケート回収などをすぐに取り入れ、授業運用が円滑に進ようになった。

2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:3239 教員名:入江 一雄

1)アンケート結果に対する所見

概ね高評価であったこと、授業を通して私の意図が伝わったことを素直に嬉しく思う。

2)要望への対応・改善方策

今期は要望に繋がる回答がなかったのが残念な反面、良い時間を提供できたと捉えることもできる。甘んじることなく、授業を展開していきたい。

3)今後の課題

アンサンブルへの興味ももちろんだが、それを超えて音楽を愛する気持ちがより高まるよう、今後も多角的なアプローチで取り組んでいく。

以 上